

## 病院長からのメッセージ

## 「医師不足—新臨床研修制度の影響」

病院長 泉 良平



最近、病院に勤務する医師が不足している現状が報道されます。なぜ、このようなことがおきているのでしょうか。

「医師の需給に関する検討会報告書」が本年7月に出されましたが、その内容の説明と医師不足の現状をお知らせします。

報告書では、日本全国の医学部や医科大学から、毎年7700人程度の医師が誕生しているとされています。退職などによる医師を差し引いた増加数は、年間に約4000人程度と概算されています。4000人も医師が増えつつけているのに、何故医師不足といわれるのでしょうか？

まず、平成16年から始まった新しい卒業医師研修制度にその一因があります。医学生は医師国家試験に合格後、2年間の臨床研修が義務付けられました。新しい研修システムが導入された理由の一つに、専門化した医師が多くなり、救急医療などで診療をできない医師が多くなったという事実があります。そのため、全ての医師が救急などの初期医療をマスターし、国民が安心して診察を受けられるようにするということが目的となりました。新臨床研修制度では、内科・外科・救急・麻酔・小児・産婦人科・精神科などが必須となり、幅広い臨床知識を得ることができるプログラムが組まれています。

これまでは、医師国家試験合格後は、専門的な医師を育成する大学病院医局に、医師の多くが所属しました。その中では、初期治療に関する訓練もなされますが、やはり、専門的な医療技術を取得することが主体となります。一方、救急医療はこの10年ほどの間に急速に進歩し、早期に適切な医療を行うことで救命出来る場合が増えてきました。そのため、このような訓練を行うことの重要性も求められたのです。

これまでは、大学医局に年間50名以上の医師が新しく所属しました。新臨床研修制度では、医局には2年間の研修後にならないと所属できなくなりました。そのため、2年間新しい医師の医局への所属が無くなりました。また、国立の大学病院は大学病院機構となって、独立採算制の厳しい経営を迫られるようになり、研究・教育を主体とした経営ではなく経済的な面での変革も求められました。多くの患者様を診療し、診療報酬を多く獲得する必要が出てきました。それには多くの医師が必要となります。不足する大学病院医師を補うために、地方の病院から医師の引き上げが始まりました。

臨床研修は、日本全国の約700の臨床研修病院で行われます。自分の希望と病院側の意思がマッチすれば日本全国どこへでも行けるようになりました。そのため、若い医師たちは都会に集まることとなり、地方では医師が不足することとなりました。

2年を過ぎて、この研修制度を終えて実際に各診療科に所属することとなりましたが、多くの若い医師は都市部にとどまり、東北・北陸地方ではますます医師が不足しています。北陸3県では、小児科や産婦人科に新しく所属する医師は大変少なく、問題となっています。これからは、富山の病院が魅力あるものとなり、若い医師が富山県に戻ってくるよう努力する必要があります。また、地域枠と呼ばれる富山県出身者が富山大学医学部に優先的に入学できる制度や、奨学制度、富山県全体での研修プログラムなどの対策をとってゆかねばなりません。今しばらく、医師不足は富山には大変大きな問題となります。私たちは、この問題に取り組んで、皆様が安心して医療を受けていただくように努力してまいります。

## 目次

■病院長からのメッセージ 「医師不足—新臨床研修制度の影響」 病院長 泉 良平	1
■部門紹介 薬剤部薬剤科薬品管理係 お薬Q&A	2
■連載企画 外来看護だより⑩ 「胸部血管外科外来」	3
■連載企画 相談室紹介④ 「心の健康相談について」 精神科 吉本博昭	3
■連載企画 旬をたのしむ28 「大根」(栄養科)	4
■新連載 病院川柳 「17文字メッセージ」	4
■連載企画 ボランティア・エッセイ(29) 『ありがとう』～報恩感謝の心 病院ボランティア 石森貞夫	5
■連載企画 解説在宅療養⑦ 「訪問看護」 地域医療連携室	6
■イベント・フォトギャラリー 「第17回看護用具工夫展」	6
■イベント・フォトギャラリー 「第15回とやま市民病院 公開講座 ふれあいセミナー」	7
■今月のふれあいギャラリー	8
■今月のイベントと院内の動き	8
■編集コラム	8



ふれあいギャラリー  
「京の紅葉5」より  
(中村 勇さん)

## 部門紹介 薬剤部 薬剤科 薬品管理係



### お薬 Q&A

**Q. お薬はいつ飲むのが効果的ですか？**

**A. お薬には、それぞれに適した服用時間が有ります。食べ物の影響を受け易いお薬、胃に障害を与えやすいお薬等があり、それぞれお薬の性質によって一番よい服用時間が決まっています。病院で出されたお薬や処方箋には、患者様本人にあった、そして、それぞれのお薬の性質にあった飲み方が指示されていますから、それを守って服用してください。**

『薬品管理』・・・重々しい響きのこの部屋には、抗ガン剤からちょっとお腹が痛いときの注射まで、ありとあらゆる注射薬が保管されています。また、病院で購入した薬品は、注射薬に限らず、飲み薬も湿布薬も、うがい薬でみなさんお馴染みのイソジンガーグルも、一旦ここに納められます。まさに『薬品を管理』するといったところですね。

ここでは主に、入院患者さま一人一人の注射薬を準備しております。注射処方箋を見ながら、この薬の組み合わせで副作用や配合変化といった問題はないだろうか？ 用量用法はこれで本当に大丈夫なのか？ 薬剤師が目を光らせてチェックしております。患者さまの容体によっては、緊急を要する場合がありますので、ここでの仕事は、時間との戦いです。

さてここには、『オートアンプルディスペンサー』と呼ばれる機械があります。いったい何のための機械でしょうか？・・・この機械の仕事は、注射薬をそろえること。病院内の電子カルテシステムと繋がっているこの機械は、まず入院患者さまの注射内容を読み取ります。そして、中に入っている約70種類の注射薬の中から薬を選んで、一人分としてセットします。リスクの軽減と作業効率面で実力を発揮するアンプルディスペンサーは、まさに薬品管理係の顔ともいえます。

部屋の場所が病院の地下という、一見地味なこの係。表舞台に立つことはありませんが、少数精鋭の人間味あふれるスタッフが、患者さまの命を守るべく、真剣勝負の日々を送っております。

### ●一般的なお薬の飲み方●

- **食前30分: 食事のおよそ30分前**  
食べ物の影響を受け易い薬や、食欲増進薬、吐き気止め等は、食べ物が胃に入る前に服用して下さい。
- **食直前: 食事の直ぐ前(食事を食べ始める前)**  
食べ物が吸収される時間帯に、薬の効果が出るように食事を食べ始める前に服用して下さい。
- **食直後: 食事の直ぐ後**  
胃に障害を与え易い薬は、食べ物で薬の刺激を和らげるために食べ物が胃の中にある時に服用して下さい。
- **食後30分: 食事のおよそ30分後**  
多くの薬は、この指示がされています。もし飲み忘れるようでしたら、食直後でも構いません。
- **食後2時間: 食事と次の食事の間、食事のおよそ2時間後**  
薬の吸収が食べ物に影響されて減少するものや、胃粘膜を保護する薬は、胃内に食べ物がなくなったこの頃に服用して下さい。
- **ねる前: 寝る直前か、およそ30分前**  
夜間の発作を予防する薬や、排便を促す薬、睡眠薬等は、この時間に服用して下さい。
- **時間毎: 食事に関係なく一定の間隔で**  
体内で持続的効果を期待する薬は、食事に関係なく6時間毎、8時間毎、12時間毎等、生活のサイクルに合わせて一定の間隔で服用して下さい。但し、安静、休養も必要ですので多少の時間のズレは構いません。
- **起床時: 朝起きた時**  
朝起きがけのめまい、発作などを予防するときに服用して下さい。
- **頓服: 必要に応じて**  
解熱剤、鎮痛剤、下剤、検査薬、狭心症発作止めの薬、睡眠薬、鎮咳剤、喘息発作止めの薬等、症状を一時的に改善する薬なので必要に応じて使用して下さい。医師の指示をよく守って服用して下さい。また、すぐに効かないからと何回も飲むのは、非常に危険ですからやめて下さい。

## 連載企画 外来看護だより⑬

## 「胸部血管外科外来」

胸部血管外科は、呼吸器外科ならびに血管外科を専門とし、これらの病変に対して手術療法を中心とした診療を行なっています。この他、特殊な疾患として、手掌多汗症の診療も行なっています。また透析施設から依頼があれば、透析用内シャント作製もいたしております。外来スタッフは、医師3名と看護師2名（月・水・金1名）、医療助手1名が協力し合い、診療に携わっています。

呼吸器疾患では、肺癌を中心とした紹介・二次検診の方、肺の手術後で定期検診の方が来院されます。検診を無事終え診察室を出られる時、「来年まで会えんがだね、寂しいわ」「来年も元気な顔を見せてください」などと、患者様と医療者の間でなにげない会話が交わされます。私たちはそのささやかな言葉のキャッチボールを大切にしています。そして患者様との信頼関係が築けるよう努力しています。

肺癌の末期状態の患者様においては、1日でも長く家庭で過ごしていただけるように全身状態改善のため、外来で点滴治療なども行なっています。また安心して家庭で生活できるように他部門と連携をとり、生活の質が向上できるようにお手伝いさせていただくこともあります。

皆さん最近“足が重い・片方の足だけが太い・100m歩くと足が痛くなって歩けなくなる”などの症状はないでしょうか。立仕事している方に多い下肢静脈瘤の場合、症状の程度に応じて弾力ストッキングを勧めたり、日常生活の注意点の指導を行なっています。また少し歩



「胸部血管外科外来スタッフ」

くとふくらはぎが痛くなるような閉塞性動脈硬化症などの病気も、足の血圧測定や、下肢血管エコーで、容易に診断が出来るようになりました。今一度、大切な自分の足をチェックしてみたいはいかがでしょうか。そして足になんらかの症状があれば早めに胸部血管外科の窓口をお訪ね下さい。心よりお待ち申し上げます。

診療時間が午前中に限られているため、大変あわただしく患者様にとっては決して満足のいく快適な環境を提供できていないとは思いません。けれども私たちスタッフ一同は、力を合わせ、患者様に安心して納得していただける診療の場を提供していきたいと思っております。

## 連載企画 相談室紹介④ 「心の健康相談について」 精神科 吉本博昭

心の健康相談があるのをご存じでしょうか。精神科の外来で足を止められると、精神科のネームプレート他に心の健康相談と書かれているのに気がつかれるでしょう。平成14年より、市民の皆様向けに無料で心の健康相談を行っています。

この相談について紹介しますと、毎週月、水、金曜日（休日・祝祭日・年末年始を除く）の午後3時より1時間の間で行い、完全予約制です。基本的には、電話での相談はお引き受けしないことになっていますが、問い合わせに近い相談であれば電話で対応することもあります。実際は、相談というより「夫がアルコールをやめられないがいつ、どこに行けば良いですか」とか、「眠れないので内科に行けば良いですか。精神科の受診は抵抗があるのですか」などが多いのが実情です。

場所は富山市民病院2階の精神科外来で、予約

は、電話で富山市民病院心の健康相談窓口（代表電話076-422-1112から内線「心の健康相談窓口」か「精神科外来受付」）へお申し込み下さい。予約時間は、午後1時から4時までです。どんなスタッフが相談にのってくれるかといいますと、精神科医師、臨床心理士、外来看護師長、精神保健福祉士が担当しますが、相談内容があらかじめはっきりしていますと、例えば「精神医学に関する相談」であれば医師、「看護、介護に関する相談」なら看護師、「心理的な問題に関する相談」であれば臨床心理士というように担当者を決定しておくことができます。

最後に、相談ではなく医師による診察、検査、処方箋を望まれたり、継続した面接あるいはカウンセリングを希望された場合は有料（健康保険利用可）となります。相談されてもカルテを作られることもありませんし、相談の秘密はもちろん厳守ですので気軽にご利用下さい。詳細はホーム・ページ上で見ることもできます。

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>

## 連載企画 旬をたのしむ28 「大根」 (栄養科)

古くは「スズシロ」「オオネ」と呼ばれていた大根は、中国南部から8世紀頃に渡来したと考えられ、品種改良や栽培技術が進んだ江戸時代には、保存食として漬物や切干しなどの加工が行われ、庶民の食生活に欠かせないものとなりました。

大根の辛味は、イソチオシアネートという成分によるものです。この成分は、大根をすりおろしたり、切ることで始めて生成され、消化をよくする作用や、血栓ができるのを防ぐなどの作用があるといわれています。

手に持ってずっしり重く、みずみずしい物を選び、保存するときは根の水分を吸収されないように葉を切り落とします。新聞紙などにくるんで涼しいところに置いておくと長持ちします。



### ★豆知識

大根の葉は、ほうれん草と同じくらい、カロチンを多く含む緑黄色野菜です。カルシウムや鉄、葉酸、ビタミンEなど、栄養素を豊富に含みます。葉付の大根を買って、是非料理も工夫してみましよう。

### ◆献立紹介 《マーボー大根》

- ①大根をさいの目切り、人参、しいたけをいちょう切りにする。
- ②フライパンで油を熱し、おろした生姜と合挽肉を、塩コショウで炒め、①の野菜を入れ、底が焦げないように水を加える。
- ③大根が柔らかくなってきたら、砂糖、醤油を入れ調味する。
- ④葱を加え(切り方は好みで)一煮立ちしたところで、水溶き片栗粉を入れて、整える
- ⑤ごま油をふって出来上がり。

#### 材料(4人分)

大根	100 g
合挽肉	150 g
人参	50 g
しいたけ	2枚
葱	30 g
生姜	ひとかけ
塩	少々
コショウ	少々
砂糖	大さじ1
醤油	大さじ3
片栗粉	適量
ごま油	適量
油	適量

### ★栄養ゼミ ～一日の始まりに朝食を～

朝食を食べることで体温が上昇し、からだが目覚めます。また脳の活動に必要なブドウ糖がエネルギーとなって、脳の働きを活発にします。朝食を抜くと低体温、低血糖状態が長く続くため、からだも脳も目覚めずなんとなくだるい、イライラするという状態が続いてしまいます。1日の始まりとしての朝食の習慣は体の健康に良いだけではなく、生活のリズムを整えることでもたらされる、精神面への効果も大きいといえます。

主食となるご飯やパンが脳を動かすエネルギー源の糖質です。主食のほかに、卵や納豆、牛乳などタンパク質のものを合わせましょう。これらは体を温かくします。

朝、忙しくても何か少しでも食べるようにしましょう。

患者との  
信頼関係  
心から



おだいびに  
健康管理が  
大事です



深夜勤  
ありがとうの  
言葉に癒される



病院の  
ふれあいギャラリ  
次はなに



看護の手  
みんなの心  
愛の輪で



夕日おち  
術後の父  
みまう母



大丈夫  
その一言が  
勇気生む



新連載 病院川柳  
「十七文字 メッセージ」

## 連載企画 ボランティア・エッセイ(29)

### 『ありがとう』～報恩感謝の心

### 病院ボランティア 石森貞夫

☆毎朝登校の児童たちが、交通整理のおじさんに「ありがとう」と声をかけていますが、お早よう・行って来ます・いただきます・ごちそうさま・ただいま・お休みなさいと、あいさつが出来る元気な地域社会となり、午後には「子ども110番」の方々が、下校時の子ども達を見守っており、不審者の無い安全地帯となっていますが、父兄方の苦労も日常気をつかう社会状況です。



ボランティア交流会

★「おかげさまの心」は、ありがとうと感謝の心になりますが、「いのち」の日々の積み重ねは、①有限性（人生80年寿命）、②一回性（一日一日が本番の連続）、③唯一性（私だけのもの）と無量寿経の中で教えられますが、さらに「身自当之・無有代者」と説かれますが、これは私自身の命は私が生きている、替わるものが無いと、当たり前的事として、生きている命の尊さ、大事さ、貴重さに気づかない凡夫の私達で、11月は浄土真宗のお寺で、報恩講の季節となり、お年寄りや親鸞聖人のみ教えとご苦労を偲び、「ありがとう」と報恩感謝の仏事が盛んです。

☆先月親戚の葬儀で、納棺のお別れから、世話になった感謝の念を込めて娘さんが「お父さん、ありがとう」と何度も元気な声で呼びかけ、今世最後の会話で、熱い涙に出会いましたが、親・子・孫へと命のバトンタッチができました。青木新門（作家・詩人）氏の「命のバトンタッチ」の講話を思い出し、また砺波の井村医師がガン闘病日記から「ありがとう、みなさん」は、生と死が限りなく近づき、ガンのために命燃え尽きる時に、あらゆるものが差別無く輝いて見えるオーラ（霊気現象）に出会い、青木講師も納棺時の死者の顔から、安らかな美しい安堵感など身をもって体験され、「末期患者には、激励は酷で、善意は悲しい。説法も言葉もいらぬ。きれいな青空のような目をした、すきとおった風のような人が側にいるだけでいい」と命の絆を語られました。

★今日、生に絶対の価値を置き、死を卑しむべき悪と見なす社会構築であってはならず、如何なる場合でも、平気で生きて行く人が、悟りある人生だとされますが、「みなさん、どうもありがとう、人の心は良いものですね。私は幸せでした。」と終末期への不安に答えられるのでしょうか。緩和医療のお世話になって、現代医療では医療者の判断が優先される中で、尊厳ある生を・死を学ばねばなりません。人間はどこかの時点で、死との出会いの前に総点検する

時があります。これまでの積み重ねの中で、私の人生があるとゆう反省と、更に自分の価値観を再発見して「生かされて生きてきた、生かされて生きている、生かされて生きてゆこう」と決意して、自分の幸せと他人の幸せをハカリにけることなく、死なないから生きていると、気楽に割り切りましょう。（本音ですか。）

☆心の介護をされた江村高槻市長は、市長職を辞めて妻の介護を1年以上された経験談話から、認知症の看護は、①自分も目線を合わせる、②子どもの絵本で教える、③自分も多少ボケて見せる、④自分の名前を書いて見せる、⑤ジョウクやユウモアの本を読んであげるなど、施設へ入れないで自宅介護され、本人との会話が大切で、家族がお年寄りやと会話する、相手のプライドには注意する、心の通う対話をすることにより、「ありがとう」と感謝される言葉が相手より聞いた時は、今までの苦労が報恩される気持ちが、心に通い合ったと訴えられ、夫婦どちらかが倒れたら一人が介護せねばならず、人生無理をしない「ほどほど」が一番だと大阪弁で結ばれました。

★何事も生老病死の社会現象を乗り切る道が大切で、私達高齢者の特性を活かして、①能力的円熟性、②時間的自由性、③報恩的終末性、④健康保持などがあり、特に歳を多く重ねると、世の中に少しでも恩を返して、みなさんに「ありがとう」と感謝される事があれば、これ以上の幸せを感じる事はありません。誰でも安らかな人生を終える時に、「ありがとう」と云えるように私の心が各々の人々にバトンタッチされるように念じて止みません。

（参考：青木新門氏の講演より）



ボランティア交流会

## 連載企画 解説「在宅療養」⑦ 「訪問看護」

## 地域医療連携室

今回は在宅サービスの1つである訪問看護についてお伝えします。

患者様の病状が安定され退院の目途が立つと、ご家族から「病院では毎日看護師さんに血圧測定や床ずれの手当てをしてもらい安心だったが、家に帰ったらどうすればよいだろう。」と、継続が必要な処置や観察などについて不安を訴えられることがあります。このようとき退院支援の1つとしてご家族に退院指導をさせていただきますが、ある程度できるが心配だというときに利用するサービスが訪問看護です。専門的な知識や技術を持ち、病院での経験がある訪問看護師や理学療法士等が訪問します。病院やかかりつけ医の先生方、または病院看護師と連携しながら支援してまいります。具体的な内容は右表のとおりです。

担当医の指示に基づき訪問を行い、定期的に療養状況を報告されますが、必要に応じて連絡を取り合いながら対応されています。訪問時間はおもに30分未満、30分以上1時間未満、1時間以上1時間30分未満の単位で利用されますが、ときに時間外利用も可能です。介護保険を利用した場合、利用料の自己負担（1割）は、下記の通りです。

利用時間	病院・診療所から	訪問看護ステーションから
30分未満	343円	425円
30分以上1時間未満	550円	830円
1時間以上1時間30分未満	845円	1,198円

## 訪問看護の具体的な内容

- 糖尿病や高血圧、精神疾患の方の病状管理
- 床ずれや創傷の処置や経過観察、予防的ケアなど
- 専門的な知識や技術に基づく介助が必要な入浴や排泄等の介助
- ご家庭でリハビリを継続したい場合
- 人工呼吸器装着、気管切開、在宅酸素療法を行っている場合
- 各種の輸液管理、腹膜透析(CAPD)、血液透析を在宅で継続している場合
- 尿道カテーテル、人工肛門などの管理が必要な場合
- 外来通院により化学療法を受けている場合
- 在宅ホスピスケア、ターミナルケアを受けている場合など

介護保険を利用できない場合でも医療保険による利用が可能です。その場合利用料は保険診療の一部負担金の割合と同じになります。

住み慣れた地域で安心して過ごしていただくために、専門的、そして予防的な関わりを担う訪問看護は、療養生活を支える重要な介護サービスです。当院においては、医療相談室を窓口としてご相談に応じております。お気軽にご相談ください。

## イベント・フォトギャラリー 「第17回看護用具工夫展」

第17回看護部

看護用具工夫展

平成18年10月12日～10月18日

● 10月12日(木): 第17回看護用具工夫展が開催されました。昭和49年より2年に1回開催しており、今年で17目を迎えました。この工夫展は患者さまの安全安楽が発想の基本にあり、今回のテーマは「療養環境を見つめて」でした。28点もの作品が集まり、いずれも少しでも快適な療養環境を患者さまにご提供したいという思いやりが感じられました。

作品は13日～18日まで、1階のエントランスホールに展示され、552名の方が見学されました。「これは看護師さんのアイデアで作ったものですか。」「すごく上手に作られていますね。」「売ってもらえないか。」などの嬉しいご意見をいただき、また「こんな作品を作ってもらえないですか。」とリクエストして下さる方もいらっしゃいました。実際、今までの工夫作品の中で製品化され、ベットサイドで活用されている物も数多くあります。



昨年は内服薬を飲みやすくする『こぼさずキャッチ 薬の服用ケース』が「グッドアイデア賞」を受賞し専門雑誌に掲載されました。私たちの看護用具工夫の活動は院外からも高い評価を受けており、今後も身近な物を使い、在宅療養にも役立つようにアイデア作品を考えていきたいと思います。

# イベント・フォトギャラリー

## 「第15回とやま市民病院公開講座 ふれあいセミナー」



講師

精神科 長谷川医師

精神科 大場さん

リハビリ 高木さん

●10月14日(土): 第15回とやま市民病院公開講座ふれあいセミナーが開催されました。今回『第2回健康で長生きするためのセミナー: 認知症と向き合う』と題して、今世間で話題のテーマを取り上げたところ、130名以上の市民の皆さまのご参加があり、大盛況でした。

講演は「認知症になりやすい人、なりにくい人」をテーマに、認知症の原因や対処法、予防法などを市民の皆様にはわかりやすい説明があり、皆さまには、「認知症を疑うチェックリスト」の自己測定結果を見ながら、参加していただきました。また、参加者の皆さまと一緒に脳を活性化させる頭や体の運動(パラレルアクション)を実践したり、モルフェウス弦楽四重奏団のリズムの激しい曲や穏やかな曲の演奏を聞いて、心身ともに活性化を促すことができたセミナーになったのではないかと思います。



今回同時に、看護体験をされた方々や患者さま、医療者からの『17文字メッセージ』(今回から新連載が始まります。4ページをご覧ください。)を発表したところ、「心があたたまる。」「わかる。」など感嘆や好評をいただきました。これからも、市民の皆さまとのふれあいを大切にしながら、健康について一緒に考えていきたいと思ひます。



## ■今月のふれあいギャラリー(玄関ホール2階)

11月11日から12月1日まで、「第2回押花アート展」(竹林押花教室の皆さん)を展示しています。待ち時間などに気軽にお立ち寄り下さい。尚、9月28日から展示しておりました「絵ことばと絵手紙展」(森下一美さん)は10月23日で、10月24日から展示しておりました「京の紅葉 5」(中村勇さん)は11月10日で終了しました。有り難うございました。



ふれあいギャラリー  
「絵ことばと絵手紙展」より(森下一美さん)

## ■今月のイベントと院内の動き

- 10月16日(月)：午後5時45分から接遇向上・推進委員会主催の接遇力向上講演会が開催されました。講師には、北陸銀行経営管理部長兼コンプライアンス統括室管理部長 内生蔵正秀さんをお迎えし、「顧客満足度の向上をめざし真剣勝負～CS向上キャンペーンの成功のキーワードは?～」という題名でご講演いただきました。「顧客の満足度を上げるのに時間やお金をかける必要はなく、一人一人のスタッフの心がけ次第である」というお話に、160名の参加者全員が熱心に耳を傾けていました。
- 10月18日(水)：午後3時から消防訓練が行われました。
- 10月19日(木)：ボランティア交流会が開催されました。この会は医療者の手作りの会で、ボランティアの皆さんが一堂に会し、活動内容や活動件数の報告が行われました。ボランティアの皆さんの日頃の活動に感謝状の贈呈が行われました。
- 10月22日(日)：東病棟5階の改修工事が完成しました。引き続き、東病棟6階の改修工事が始まります。
- 10月23日(月)：国際交流の一環として、姉妹都市の中国秦皇島市から医学研修生2名(張 秀雲先生と張 克軍先生)が来院されました。11月15日まで当院婦人科・小児科で研修を受けられます。
- 10月27日(金)：第12回安全と信頼の医療を考えるセミナーが行われました。講師に新田塚医療福祉センター医療安全対策部部長で認定安全管理担当者・助産師の林里都子先生をお迎えし、総合病院における医療メディエーションの実践と題してご講演いただきました。



中国秦皇島市との医学交流

## 敷地内全面禁煙のお知らせ



平成19年1月1日から、  
病院敷地内を全面禁煙とさせていただきます。患者様並びにご来院の皆様のご受動喫煙を防止し健康増進をはかるため、ご理解とご協力をお願いします。

## ■編集コラム

富山市民病院マガジンが第6回ヘルスケア情報誌コンクール(BHI賞)に入選しました。将来の展開に期待される広報誌ということで審査員特別賞のビジョン賞に選ばれたのです。このコンクールはNPO法人日本HIS(Hospital Identity System)研究センターが主催するもので、BHIとはベスト・ヘルスケア・インフォマガジン(最優秀ヘルスケア情報誌)の略で、第6回の最優秀賞は福岡徳洲会病院の「ほほえみ」でした。NPO法人日本HIS研究センターはあまり聞き慣れないと思いますが、利用者の立場に立った広報活動を支援する団体で、広報プランナーの育成や病院広報事例発表会などを開催し、市民の立場から広報を中心とした医療の質向上に取り組んでいます。

企画の有益性、読みやすさ、わかりやすさ、グッドデザイン、情報への使命感などが採点されます。人は見た目ともいうようにデザインがかなり重要なようで、実は第一次の一般市民審査ではもれてしまいました。当紙は市販のソフトを使い、すべて手作りで編集することで、低経費を実現していますが、片手間の編集作業では時に読者の存在を忘れ、何が情報として求められているのかを見失いがちになってしまいます。今回の受賞は審査員からの叱咤激励ともいえるでしょう。今後も読者の皆さまの声を大切にして、よりよい広報誌にしていきたいと考えております。

総編集長: 病院長 泉 良平  
編集部: 齋藤勝彦・家城岩松・石森貞夫  
島竹恵美子・松下桂子・玉扶持春実・川口 宏

発行: 富山市立富山市民病院広報委員会  
〒939-8511  
富山市今泉北部町2-1

電話 076 (422) 1112  
Fax 076 (422) 1371

<http://www.tch.toyama.toyama.jp/>



富山市立 富山市民病院

